

◎坐骨免荷長下肢装具の装着方法◎

(トーマス装具)

① パーツが揃っているか確認

左から

① 装具

(黒色 or ベージュ色)

② 靴

計2つ



※装具は骨折部位や医師の診断により仕様は異なります。

② 靴の装着

・装具とは逆の足に加工済みの靴を履きます。

※靴はお渡しした靴を必ず履いて下さい。



③ 装具の装着

・装具を足の横に置きます。



・お尻を持ち上げて、ソケットを広げ、前から足を押し込む様にします。この時、踵から後ろに押し込むようにして下さい。

※上から足を入れようとすると、足を高く上げたりくるぶしがぶつかったりする為うまく装着出来ません。



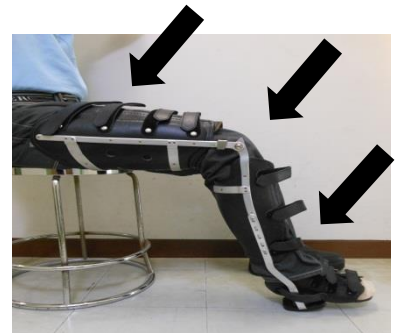
④ 装着例

・太ももの部分から足を入れないで下さい。



※悪い例

・矢印の方向に足を押し込むようにして下さい。



○良い例

⑤ 足先のマジックをとめる

・マジックは金属の輪(カン)に通して折り返して下さい。
・2～3本のマジックがついています。

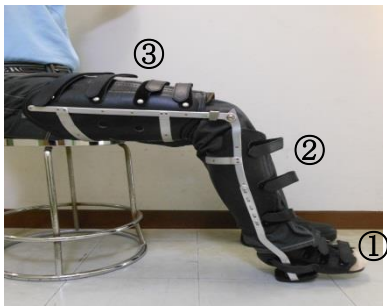
※締め加減には十分注意して下さい。しびれやむくみ血行不良にも注意して下さい。



⑥ 下腿部・大腿部のマジックをとめる

- ・足先のマジックと同様に折り返して下さい。

- ①足先
 - ②下腿部
 - ③大腿部
- の順にとめます。



※締め加減には十分注意して下さい。
しびれやむくみ血行不良にも注意して下さい。

- ・大腿部はしっかりととめて下さい。

※大腿部の締め加減により骨折部位に負担をかけない様
しているので、緩いと足が着いてしまいます。



※マジックは一度で締めるのは難しいため何度かに分けて締めて下さい。

⑦ フットアップバンドの装着

- ・親指側と小指側に2本のバンドがついています。
- ・クロスをさせて引っ掛けます。

※つま先をつきにくくしてあるが、自分でつま先を上げる様に心掛けて下さい。

※フットアップバンドは骨折部位や医師の診断により、ついていない場合もあります。



⑧ 膝のロック方法

- ・歩行する時は必ず膝のロック（固定）をします。



- ・ロックをかける時はリングを下に下げます。
※リングを下げてベアリングが見えたとロックされます。



- ・ロックを解除する時はリングを上にあげます。
※リングを上げてベアリングが見えない様
すると解除されます。



⑨ 装着完了



前



後

- ・松葉杖や歩行器を使って歩く練習を始めます。

⑩ チェック項目確認

- ・装着位置はあっているか。
- ・プラスチックや金属が当たって痛くないか。
- ・足が下についてないか。



(足のかわりはゴム底になります。)

- ・お尻（坐骨）で体重を支えているか。



(お尻（坐骨）で体重を支えているため
痛くなる事もあります。)

- ・マジックの締め具合は適切か。
(しびれ・むくみ・血行など)
- ・装具とは逆の足に靴を履いているか。
- ・膝のロックがスムーズにできるか。

⑪ 注意事項

- ・仕様は医師の指示に従って下さい。
- ・装着前・装着後に破損がないか
確認して下さい。
- ・修理や加工をしないで下さい。
- ・痛みや傷などの症状が現れた場合には
直ちに医師に相談して下さい。
- ・マジックの締め加減には注意して下さい。
- ・歩く時に使用するものなので、寝る時やゆっくり
する時ははずしても大丈夫です。
- ・大変申し訳ありませんが室内では底を拭いて
使用して下さい。(またはご相談下さい。)

その他、ご不明な点がございましたら下記まで
ご連絡下さい。

有限会社 内藤義肢製作所
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-30-13
TEL 03-3981-3288 FAX 03-3987-1084
担当